

令和6年能登半島地震について

令和6年元日に発生した能登半島地震で被災された皆様には、改めて心よりお見舞い申し上げます。アイラインでは地震発生後から北陸地方の家族会を中心に情報共有に努め、現在も家族会ネットワークとしてできることを模索し続けています。

今回、最も被害の大きい石川県では、医療的ケア児支援センターや医師会のご尽力により、迅速に県内の医療的ケア児の安否確認等進めていただきました。日頃から私たちの存在を地域できちんと把握していただいていることが、災害時にも不安を安心に変えてくれる心強い支援に繋がることを、石川県の家族会だけでなく、情報共有した全国の家族会の皆さんも感じていることと思います。これからも一つ一つ地道な活動を続け、各家族会が地域とより強く繋がり合う関係になっていけるよう、アイラインのネットワークをいかし学び合っていきましょう。

全国フォーラム報告書について

昨年11月3日に開催した全国フォーラムの報告書が完成しました。今回は昨年同様の報告書の他に、参加者報告書、開催に先立ち実施した全国アンケートの結果をまとめたアンケート報告書の計3冊となっています。各家族会の皆様には、申請いただいた希望部数を2月上旬には発送できる予定です。

思い出としてイベントを振り返っていただくだけでなく、地域の関係各所にアイラインや各家族会の活動について知っていただくためのツールとして利用いただけたら幸いです。



vol.22

p1

家族会の活動レポート⑭三重県 県全体でピアサポートを！

三重県重症ケア家族会 SMILEでは11月26日にNPO法人みかんぐみ様をお招きして第1回SMILEピアサポート交流会研修会を開催しました。1年程前にアイライン内でみかんぐみ様のピアサポート勉強会が開催され、そこで三重県でもピアサポート交流会を行いたいと準備を進めていました。

3部構成の1部は、みかんぐみ様の講演。杉並区でのピアサポート交流会がどのように行われているかなど、詳しくたくさんお話いただきとても勉強になりました。2部ではSMILEの家族会員から3名の方にお話いただきました。ピアだからこそ本音を言える。寄り添う気持ち。大変貴重なお話で、本当に素晴らしい発表でした。3部のディスカッションでは『ピアスタッフとして自分が役に立ってるのか不安』というご意見に対し、みかんぐみ様より『何とか役に立ちたいと思ってしまうと思いますが、役に立つか立たないかはお相手の方が決めること』と教えていただき、とても充実したディスカッションが出来ました。

涙あふれる感動でいっぱいのもとても素晴らしい研修会になり、『ピアサポート交流会って何？』から『三重県にもピアサポート交流会が必要！』と、皆様に熱い気持ちを持っていただけたと思います。三重県全体でピアサポート交流会ができるように進めていきたいです。

代表 奥山絵里



vol.22

p2

アイライン活動記録

(2024年1月)



○ ZOOMミーティング

- (役員) 5日 19日
- (全国連絡会) 13日
- (調査チーム) 13日
- (事務局) 17日
- (サークルリーダー) 30日

○ オンラインサークル活動

- (フリーテーマ) 12日
- (防災) 19日
- (短期入所) 20日
- (衣食住) 26日

○ その他

- ・ 第2回全国フォーラム報告書作成、配布準備
- ・ 全国アンケート報告書作成、配布準備
- ・ 臨時総会(役員改選)準備
- ・ 能登半島地震対応

